



114  
A2515

右訓令又  
明治二十四年九月十六日  
司法大臣子爵田中不二麻呂



司法省書第四七號

但明治十九年七月司法省令丙第八號裁判所處務規程  
及檢事局事務章程別冊一通相定

裁  
判  
所  
局

第一章	通則
第二章	裁判所
第三章	検事局



裁判所及検事局事務章程

第一章 通則

第一條 此章程ニ於テ裁判所ノ長ト称スルハ控訴院長地方  
 裁判所長及區裁判所一人ノ判事若ハ監督判事トス検事局  
 ノ長ト称スルハ検事總長檢事長檢事正及區裁判所一人  
 ノ檢事若ハ上席檢事トス

第二條 裁判所又ハ検事局ヨリ司法大臣ヘノ稟申報告ハ別段  
 ノ例規アルモノヲ除クノ外其監督上官ヲ經由ス可シ但檢  
 事總長ヲ經由ス可キモノハ特ニ之ヲ定ム  
 區裁判所又ハ其検事局ハ地方裁判所長又ハ檢事正ニ對シ  
 稟申報告ヲ為ス可シ

第三條 緊急事件ニ付テハ前條ノ規程ニ拘ハラズ直ニ司法大  
 臣ニ稟申報告ヲ為シ一面直ニ監督上官ニ報告ス可シ

第四條

裁判所及檢事局ト中央官廳及在外國日本官廳トノ間ニ往復スル文書ハ總テ司法大臣ヲ經由ス可シ但別段ノ例規アルモノハ此限ニ在ラス

第五條

裁判所ノ長及檢事局ノ長ハ各其主掌ニ係ル諸表ノ調制ヲ管理ス可シ

第六條

裁判所及檢事局ノ長ハ所屬書記ノ分任ヲ定メ且其中一人ニ監督書記ヲ命スヘシ

第七條

裁判所及檢事局ノ書記差支アルトキハ互ニ補助ス可シ  
裁判所及檢事局ニ出勤簿ヲ設ケ其職責ヲシテ捺印セシメ裁判所ノ長及檢事局ノ長ハ之ヲ調査シ司法年度ノ半

第八條

裁判所及檢事局ノ職員疾病忌服又ハ其他ノ事故ニテ欠勤スルトキハ各其所屬廳ニ届書ヲ差出ス可シ但疾病日

第九條

數七日以上ニ涉ルトキハ一業ヲ添ヘテ更ニ届出ヘシ

第十條

裁判所及檢事局ノ宿直ハ書記ヲシテ勤務セシム可シ

第十一條

裁判執行司法警察物品金錢ノ保管費用徵收等ニ係ル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第十二章

裁判所

第一條

控訴院及地方裁判所ハ一年間各部ノ開廷日割ヲ豫定シ廳内公衆ノ見易キ場所ニ之ヲ掲示ス可シ但區裁判所ト雖氏開廷日割ヲ要スルトキハ本條ノ例ニ依ル

第二條

裁判所事務ノ分配ハ事件ノ種類又ハ土地ノ區域等ニ依リ之ヲ定ム可シ

第三條

事務ノ分配ハ其繁閑ニ從ヒ甲部ノ判事ヲシテ乙部ノ事務ヲ兼掌セシメ又ハ豫審判事ヲシテ民事部若ハ刑事部ノ事

第四條

事務ノ分配ハ其繁閑ニ從ヒ甲部ノ判事ヲシテ乙部ノ事務ヲ兼掌セシメ又ハ豫審判事ヲシテ民事部若ハ刑事部ノ事

第五條

事務ノ分配ハ其繁閑ニ從ヒ甲部ノ判事ヲシテ乙部ノ事務ヲ兼掌セシメ又ハ豫審判事ヲシテ民事部若ハ刑事部ノ事

第六條

事務ノ分配ハ其繁閑ニ從ヒ甲部ノ判事ヲシテ乙部ノ事務ヲ兼掌セシメ又ハ豫審判事ヲシテ民事部若ハ刑事部ノ事

第七條

事務ノ分配ハ其繁閑ニ從ヒ甲部ノ判事ヲシテ乙部ノ事務ヲ兼掌セシメ又ハ豫審判事ヲシテ民事部若ハ刑事部ノ事

務ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第十三條 審判ニ付ス可キ事件ノ順序ハ各部又ハ各判事ニ於テ擔當シタル事件ノ番號ニ從テ可シ但必要ノ場合ニ於テハ其順序ヲ變更スルコトヲ得

第十四條 地方裁判所長ハ檢事正ノ意見ヲ聽キ其裁判所及支部ヲ置キ區裁判所ノ判事申ヨリ豫審判事タルハキ者ヲ指名シ毎年十一月十五日マテニ控訴院長ニ具申シ控訴院長ハ檢事長ノ意見ヲ聽キ十二月十五日マテニ司法大臣ニ具申ス可シ

第十五條 豫審判事差支アルトキハ地方裁判所長ハ其裁判所及支部ヲ置ク區裁判所ノ判事申ヨリ臨時其代理ヲ命スルコトヲ得

第十六條 區裁判所ノ判事差支アリテ其裁判所ニ代理ヲ爲ス

ハキ者及トキハ地方裁判所長ハ裁判所構成法第十三條第一項ニ依リ前以テ定メタル代理順序ニ從ヒ他ノ區裁判所ノ判事又ハ豫備判事ニ出張ヲ命ス可シ

第十七條 區裁判所出張所ニ於テ法廷ヲ開クトキハ地方裁判所長ハ管轄區裁判所ノ判事ニ出張ヲ命ス可シ若シ判事一人ヲ置キタル區裁判所ノ所轄出張所ニ於テ法廷ヲ開クトキハ前條ノ例ニ從ヒ其管轄區域内ノ區裁判所ノ判事又ハ豫備判事ニ出張ヲ命スルコトヲ得

第十八條 地方裁判所長ハ區裁判所及區裁判所出張所ノ書記差支アルカ又ハ書記アラサルトキハ其管轄區域内ノ區裁判所又ハ地方裁判所ノ書記ニ出張ヲ命スルコトヲ得

第十九條 判事其裁判所所在地外ニ臨檢スルキトキハ直近監督上官ノ認可ヲ受ク可シ但緊急ノ場合ニ於テハ臨檢ノ後

其旨ヲ報告ス可シ

第二十條 控訴院及地方裁判所ニ於テハ判事ノ總會議ヲ開ク可シ

第二十一條 總會議ハ其廳ノ判事三分ノ二以上出席スルニ非サレハ之ヲ開クコトヲ得ス

總會議ハ裁判所ノ長ヲ以テ議長トス  
檢事長又ハ檢事正ハ其會議ニ出席シ意見ヲ述ルコトヲ得  
總會議ニ於テ議スルキ事項左ノ如シ

- 一 裁判所構成法第四百一條ニ係ル事項
- 一 法律規則ノ執行ニ関シ檢事長檢事正ヨリ請求アリタル事項

- 一 事務細則ノ設定変更ニ関スル事項
- 一 院長又ハ所長ニ於テ必要トスル事項

第二十二條 控訴院ハ毎年二月總會議ヲ開キ其管轄区域内下級裁判所ノ前一年間執務成績ニ関スル檢事長ノ報告ヲ聽

キ矯正スヘキ弊害アレハ相當ノ評決ヲ為ス可シ

第二十三條 控訴院ニ於テ前條ノ評決ヲ為シタルトキハ控訴院長ハ之ヲ裁判所ニ訓令シ且司法大臣ニ報告ス可シ

第三章 檢事局

第二十四條 檢事局ニ檢事數名アルトキハ檢事局ノ長ハ其分任ヲ定ム可シ但區裁判所檢事ノ分任ハ檢事正之ヲ定ム  
重要ナル事件ハ檢事局ノ長自ラ之ヲ取扱フ可シ

第二十五條 左ニ記載スル書類ノ原本及正本ニハ檢事局ノ長署名捺印スルヲ要ス

- 一 上訴再審ニ関スル書類
- 一 特赦ノ上申書

一 檢事ノ處分ニ對スル抗告ノ判定書

一 監督上官ニ差出スヘキ書類

一 中央官廳及地方廳トノ往復書類

此他重要ナル書類ニハ檢事局ノ長署名捺印スヘシ

第二十六條 檢事局ノ長差支アルトキハ其局ノ次席檢事若ハ

其局ノ長ヨリ指名シタル檢事代理ス

第二十七條 控訴院檢事局ノ檢事差支アルトキハ其所在ノ地

方裁判所檢事局ノ檢事ヲシテ隨時其事務ヲ取扱ハシムル

コトヲ得

第二十八條 地方裁判所檢事局ノ檢事差支アルトキハ其所在

地ノ區裁判所檢事局ノ檢事ヲシテ隨時其事務ヲ取扱ハシ

ムルコトヲ得

第二十九條 區裁判所檢事局ノ檢事ニ差支アルトキハ檢事正

ハ其區裁判所所在地ノ警察官憲兵將校下士又ハ機務官ヲ  
シテ檢事ノ事務ヲ取扱ハシムヘシ

第三十條 檢事其裁判所所在地外ニ臨檢スヘキトキハ直近監

督上官ノ認可ヲ受ク可シ但緊急ノ場合ニ於テハ臨檢ノ後

其旨ヲ報告ス可シ

第三十一條 檢事正ハ毎年一月其局ヲ附置セラレタル裁判所

及其管轄區域内ノ區裁判所ノ前一年間執務成績及其弊

害アルトキハ之ヲ矯正スルノ方法ヲ檢事長ニ具申ス可シ

第三十二條 檢事長ハ毎年二月控訴院ニ於テ開クヘキ總會

ニ於テ管轄區域内下級裁判所ノ前一年間執務成績及其弊

害アルトキハ之ヲ矯正スルノ方法ヲ演述ス可シ

演述ノ筆記ハ司法大臣ニ進達ス可シ

